

# 糸我小学校だより

令和3年11月18日①



校庭のもみじがようやく赤く色づきはじめました。冬の足音も聞こえてくる頃、どうやら秋は短くなりそうです。さて、10月後半から11月前半の学校での出来事を紹介します。

## 修学旅行



11月8日(月)・9日(火)は、6年生の修学旅行でした。昨年度同様、紀南へ行ってきました。初日はあいにくの天気でしたが、子供たちは元気に熊野本宮大社・大斎原、那智の滝やくじらの博物館を見学しました。二日目は雨も止み、橋杭岩や三段壁洞窟、アドベンチャーワールドをめぐり全員無事に帰校しました。たくさん楽しい思い出ができたことと思います。



## 「お出かけ音楽会」～マリンバとピアノの演奏会～

10月29日(金)は「お出かけ音楽会」がありました。これは、和歌山県文化振興財団主催の事業のひとつです。ほんものの音楽にふれる機会になればと思い、演奏に来ていただきました。

「剣の舞」「おもちゃの兵隊のマーチ」や「チェイス」という曲、オペラのカルメンで流れる曲など演奏してくれました。子供たちが耳にしたことのある曲もあり演奏を楽しんでいました。とりわけ、マレット(バチ)を片手に2本ずつ持った高速演奏に驚き、その音色に感動していました。やっぱり、ほんものの音楽はいいものです。



## 地震津波避難訓練

11月5日は「世界津波の日」です。本校でもこの日に合わせ、地震津波避難訓練を行いました。

緊急地震速報が流れると、子供達はすぐに机の下に潜り込み、身を守る体勢をとりました。「地震がおさまりました。」の放送で、全員がグラウンドへ避難。その後、津波が来るという想定で、法明寺まで避難しました。子供達はみんな真剣な態度で訓練に臨むことができました。



## 今年度の「田んぼの学校」終わりました～お礼の訪問～

11月4日(木)に、5年生の代表者が有田市役所と有田振興局に、収穫したお米を持って訪問しました。今年度の「田んぼの学校」の活動終了の報告と活動の支援へのお礼を伝えました。



有田振興局へ

有田市長様へ

有田市教育委員会へ

# 糸我小学校だより

令和3年12月18日②



## みかん収穫体験



11月4日(木)に、3年生の「総合的な学習の時間」にみかん収穫体験をさせていただきました。前回の摘果体験でお手数をおかけした宮本正弘さんに再びお世話になりました。前回の「マルチをしたものとしいないもので、みかんの味は変わるのだろうか」という課題を解決する目的もあります。子供たちは糖度計を興味深くのぞき込んでいました。結果は、マルチをした方が糖度が高いことが分かりました。宮本さんのおかげで、実体験を通して学習することができました。最後に、収穫したみかんをお土産にいただきました。ありがとうございました。



5年生の「田んぼの学校」や3年生の「みかんの学習」では、本当にたくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。他の学年でも地域の方にお世話になることがたくさんあります。この貴重な体験をとおして子供たちは、いろんな事を感じ、考え、たくさんのことを学んでくれていると思います。この子供たちが大きくなったとき、お世話になった方々と同じように郷土を愛し、郷土の人たちを思い、力を発揮できる人になってくれると思います。

この伝統ある活動が続いていくことを願っています。今後もよろしくお願いいたします。

## 見守り隊紹介式 ～いつも、ありがとうございます～



11月15日(月)の朝の会で、見守り隊紹介式を行いました。「見守り隊」というのは、子どもたちの安全のために登下校を見守ってくださっている地域の方たちです。登下校中の子供たちに声をかけてくださりながら、犯罪や事故が起きにくい環境にしてくれています。糸我小学校校区内には、保護者の方を始め、22名の地域の方が見守り隊になってくれています。この日は、15名の方が学校に来てくれました。見守り隊の方から「子供は宝なので守っていかねば」とおっしゃっていただきました。また、下校時の子供たちは気が緩むのか、道いっぱい広がったり複数名で蛇行しながら歩いているのが気になること、12日大阪の中学生が乗った自転車が高齢者の方と衝突し死亡事故になったこともあり、自転車でも加害者になり得るので乗り方に気をつけなければならないことなどのご意見をいただきました。

今後も、無理のない形で、持続可能な活動にしていきたいと思います。これからも子供たちをよろしく願います。

## 糸我稲荷神社へお祭り調べ



11月16日(火)、4年生がお祭りについて調べるために、糸我稲荷神社にお邪魔しました。子供たちは、糸我稲荷神社を管理されている富山晴美さんにいろいろとお話を伺いました。

秋祭りは、農作物がたくさん収穫できた感謝を表す行事であること、糸我稲荷神社の秋祭りは、約700年前(室町時代)から始まったこと、御神輿は、神様の乗る乗り物であり、それを担ぐことで神様のパワーがもらえることなど教えていただきました。そんな話の中で、糸我稲荷神社は、正面の鳥居に「本朝最初・稲荷大神社」の額が掲げられているように、日本最初の稲荷神社といわれていることも教えていただきました。子供の「これからの課題はありますか。」という質問に、富山さんは「子供の頃からお祭りを体験して、大人になった時にそれを伝えてほしい」と答えていただきました。約700年間脈々と受け継がれてきた伝統の祭りを今後も子供たちがきっと引き継いでいってくれると思います。